



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月12日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東  
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石丸 博 TEL 03-6369-8660  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	65,606	12.9	478	△44.1	45	△94.2	△107	—
26年3月期第2四半期	58,111	11.5	855	130.7	779	—	2,428	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △398百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 6,191百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△4.18	—
26年3月期第2四半期	112.57	111.93

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	136,050	54,020	39.6
26年3月期	137,233	54,592	39.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 53,909百万円 26年3月期 54,512百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	6.00	14.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 平成26年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,900	7.2	1,800	△59.5	700	△82.6	400	△93.6	15.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	26,027,720株	26年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	203,336株	26年3月期	203,106株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	25,824,492株	26年3月期2Q	21,570,056株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から個人消費や生産活動は弱いものの、全体としては緩やかながらも回復基調が続いています。海外においては、アメリカでは景気は回復しており、アジアでは中国の景気の拡大テンポが緩やかになっており、インドの景気も底ばい状態から持ち直しの動きがみられるなど、世界の景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しています。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高65,606百万円（前年同四半期比12.9%増）、営業利益478百万円（前年同四半期比44.1%減）、経常利益45百万円（前年同四半期比94.2%減）、四半期純損失107百万円（前年同四半期は四半期純利益2,428百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、消費税率引上げの影響が国内販売市場に及んでいるものの、北米市場向けを中心とした輸出が好調を維持しております。当社においてもこれらの影響を受け、受注量はほぼ前年同四半期と同水準であるものの主に地金市況の高騰影響等により、売上高は30,348百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。収益面においては、製造変動費の低減を進めるも減価償却費の増加及び賃上げに伴う労務費の増加等によりセグメント利益は1,120百万円（前年同四半期比17.2%減）となりました。

#### ② ダイカスト事業 北米

北米では、アメリカでの好調な自動車販売の影響を受けた受注の増加、部品の新規立ち上がりなどに加え、円安基調にある為替換算の影響により売上高は19,063百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。収益面においては、アメリカでの前年第3四半期からの急激な生産増加への対応遅れに伴う生産性低下等の影響により、セグメント損失は608百万円（前年同四半期はセグメント損失25百万円）となりました。

#### ③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、日中関係の動向を受けて減少した自動車生産が回復したことに加え、円安基調にある為替換算の影響により、当社においても前年第4四半期の水準に満たないものの売上が増加しました。この結果、アジアでの売上高は12,979百万円（前年同四半期比27.7%増）となりました。収益面においては、中国合肥工場の黒字化、増収による増益効果等により、セグメント利益は67百万円（前年同四半期はセグメント損失496百万円）となりました。

#### ④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、受注量が前年同四半期比でほぼ横ばいに推移したものの、販売価格が上昇したことにより売上高は2,345百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。収益面においては、使用原材料の高騰等の影響により、セグメント損失は33百万円（前年同四半期はセグメント利益22百万円）となりました。

#### ⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が減少したことにより、売上高は869百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。収益面においては、原価低減を進めたものの減収による影響等によりセグメント損失は12百万円（前年同四半期はセグメント利益13百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,183百万円減少して136,050百万円となりました。主な要因は、設備投資代金の支払い等による現金及び預金の減少2,198百万円、保有株式の株価上昇による投資有価証券の増加926百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ612百万円減少して82,029百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少1,142百万円、支払手形及び買掛金の減少434百万円、借入金の増加943百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ571百万円減少して54,020百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の減少922百万円、四半期純損失及び配当金の支払等による利益剰余金の減少313百万円、保有株式の株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加590百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末39.7%から39.6%となりました。

なお、平成26年3月に実施しました増資資金は、海外子会社の設備投資に充当しております。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、平成26年10月29日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が72百万円増加し、利益剰余金が50百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,791	6,593
受取手形及び売掛金	25,924	24,829
商品及び製品	3,303	3,021
仕掛品	4,062	4,458
原材料及び貯蔵品	3,171	3,525
その他	3,666	4,042
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	48,920	46,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,710	14,617
機械装置及び運搬具（純額）	40,813	43,754
土地	5,252	5,259
建設仮勘定	9,862	7,116
その他（純額）	7,568	7,812
有形固定資産合計	78,208	78,561
無形固定資産	1,340	1,354
投資その他の資産		
投資有価証券	5,964	6,891
その他	2,800	2,774
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,764	9,664
固定資産合計	88,313	89,580
資産合計	137,233	136,050
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,140	14,705
電子記録債務	4,574	4,406
短期借入金	6,676	6,199
1年内返済予定の長期借入金	9,848	9,962
未払法人税等	1,526	383
賞与引当金	1,254	1,217
役員賞与引当金	28	-
製品保証引当金	180	156
その他	7,612	7,681
流動負債合計	46,841	44,713
固定負債		
長期借入金	26,490	27,796
退職給付に係る負債	4,913	5,029
その他	4,396	4,489
固定負債合計	35,800	37,315
負債合計	82,641	82,029

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	32,035	31,722
自己株式	△304	△304
株主資本合計	48,851	48,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,540	3,131
為替換算調整勘定	3,660	2,738
退職給付に係る調整累計額	△539	△498
その他の包括利益累計額合計	5,661	5,371
新株予約権	79	111
純資産合計	54,592	54,020
負債純資産合計	137,233	136,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	58,111	65,606
売上原価	52,571	60,078
売上総利益	5,539	5,527
販売費及び一般管理費	4,684	5,048
営業利益	855	478
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	65	70
為替差益	250	0
スクラップ売却益	49	69
その他	71	83
営業外収益合計	442	234
営業外費用		
支払利息	504	598
その他	13	68
営業外費用合計	518	667
経常利益	779	45
特別利益		
固定資産売却益	2,286	6
補助金収入	19	14
特別利益合計	2,306	20
特別損失		
固定資産除売却損	53	62
投資有価証券売却損	9	-
特別損失合計	63	62
税金等調整前四半期純利益	3,022	3
法人税、住民税及び事業税	527	700
法人税等調整額	67	△588
法人税等合計	594	111
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,428	△107
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,428	△107



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,428	△107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	557	590
為替換算調整勘定	3,205	△922
退職給付に係る調整額	—	41
その他の包括利益合計	3,763	△290
四半期包括利益	6,191	△398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,191	△398
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,022	3
減価償却費	5,426	5,984
賞与引当金の増減額 (△は減少)	186	△38
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	177	△22
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	113	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	107
受取利息及び受取配当金	△71	△80
支払利息	504	598
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△2,232	54
補助金収入	△19	△14
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,549	837
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△44	△495
仕入債務の増減額 (△は減少)	689	△462
未払金の増減額 (△は減少)	522	170
未払消費税等の増減額 (△は減少)	604	△320
その他	225	△585
小計	6,557	5,736
利息及び配当金の受取額	71	80
利息の支払額	△515	△561
補助金の受取額	18	14
法人税等の支払額	△469	△1,843
法人税等の還付額	51	247
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,712	3,673
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,997	△7,403
有形固定資産の売却による収入	2,526	45
その他	△170	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,641	△7,412
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	15,353	14,677
短期借入金の返済による支出	△14,129	△14,975
長期借入れによる収入	3,308	6,858
長期借入金の返済による支出	△5,172	△4,626
配当金の支払額	△1	△153
その他	△94	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△736	1,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	262	△129
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,403	△2,198
現金及び現金同等物の期首残高	6,087	8,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,684	6,593

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	29,383	15,336	10,166	2,228	995	58,111
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,752	20	522	1,284	0	3,579
計	31,135	15,356	10,689	3,512	996	61,690
セグメント利益又は損失 (△)	1,353	△25	△496	22	13	868

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	868
セグメント間取引消去	△12
四半期連結損益計算書の営業利益	855

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	30,348	19,063	12,979	2,345	869	65,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,220	5	454	1,482	0	4,162
計	32,568	19,068	13,433	3,827	870	69,768
セグメント利益又は損失(△)	1,120	△608	67	△33	△12	533

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	533
セグメント間取引消去	△55
四半期連結損益計算書の営業利益	478

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。